

関西文化に育まれた文学

～近現代作家が描く歴史小説～

映画やドラマで、今年注目されている荒木村重。織田信長の家臣でありながら、信長に反逆した彼は、裏切り者の汚名をしばしば背負わされてきました。また、村重の遺児である岩佐又兵衛を絵師として登用した松平忠直は、大坂夏の陣で功績をあげた家康の孫でありながら、無慈悲残忍な人格の逸話を背負わされて歴史の表舞台から姿を消します。不遇な二人の人物それぞれの内面を、新たな解釈とともに描き出し、彼らの生きた証を示した作家たちの作品を読み解きます。



8月27日(木)10時～11時 30 分

遠藤周作「**反逆**」

9月10日(木)10時～11時 30 分

菊池寛「**忠直卿行状記**」



講師：箕野 聡子 神戸海星女子学院大学教授。

甲南大学・甲南女子大学・関西学院短期大学非常勤講師。専門は日本近代・現代文学。『新聞から見る1923年の神戸』(共著)関西学院大学出版会、『横光利一と関西文化圏』(共著)松籟社など

会場：芦屋市民センター本館401室 募集：90名 受講料：1,000円（初回に一括支払い）

下記いずれかの方法でお申し込みください。先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。

- 公民館講座ホームページ <https://ashiya-kominkan.com/course/>
ホームページから申込フォームに入れます。自動返信メールが受講案内となっています。
芦屋市の方は、6月1日（月）から受付開始。市外の方は、6月15日（月）から受付開始。



- 往復ハガキ 往信面に ①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号をご記入の上、下記宛にお送りください。
返信ハガキが受講案内となっています。内容をよくご確認ください。